

呉市手をつなぐ育成会 ～8月号～

育成会だより

障がい児者を守り、その福祉の向上を図ることを目的とします。



2025年(令和7年)8月1日発行

呉市手をつなぐ育成会

会長 中川 潤二

〒737-0051

呉市中央5丁目12-21

呉市福祉会館3階

Tel(0823)24-2260

Fax(0823)24-2568

E-mail kure-teotunagu
@herb.ocn.ne.jp

<http://kure-teotunagu.org/>

作品名「梅雨の日」



呉市立豊小学校 ひまわり学級

もくじ

表紙 呉市立豊小学校

P.2 「天平の夢」 会長 中川潤二

「今年もかわいいひまわりが咲いたよ」

P.3 サロン「みんなの話」報告

研修報告(たんぽぽの会講演会 西村先生)

P.4 手をつなぎ生きる vol.32

「小学四年生になった」高橋菜津子・惇人

P.5 ぼくの学級！わたしの学級 呉市立両城中学校

P.6 広島県知的障害者福祉大会 地震から身を守る

P.7 本人活動報告 今年の夏の過ごし方

P.8 説明の追加 就労選択支援とは

お礼 お知らせ 編集後記

8月の予定

8月17日(日)

本人部会会議 10:00(呉つばき会館)

うたう会 13:15(呉つばき会館)

8月23日(土)

いくせい太鼓 14:00(呉つばき会館)

★次回発行予定は9月1日です

★8月14日～15日は休業致します。



「天平の夢」



呉市手をつなぐ育成会
会長 中川 潤二

6月、どうしても行きたかった奈良の唐招提寺に行って来ました。鑑真和上のお寺です。唐招提寺では6月の開山忌の3日間御影堂が公開されます。朝6時半過ぎにホテルを出て電車に乗って。西ノ京に。7時半南大門に着くと、もう20番目でした。開門は8時半ですから1時間は並んで待ちました。

それでもあまり長く感じませんでした。門の向こうに金堂が見えるのです。その金堂の屋根が天平の薨です。井上靖さんの小説で有名ですし、私たちにはとても思い入れのある金堂です。並んでいるみなさんも和上の像に会えることを楽しみに待っている仲間です。前に並んでいた千葉から来られていた同年配の夫婦とも話をしました。開門された頃、後ろには長い列ができていました。9時からの整理券を求めていよいよ御影堂に向かいます。

今から25年前、唐招提寺の金堂は修理のために覆いがかけられ解体されることになりました。その時、妻は大きな病にかかりました。10年経ったら又、覆いが取れるから。そして、病も大丈夫になるからと覆いのかけられる前の金堂の前に立ちました。必ず来るからを合言葉に頑張りました。10年後、やっと金堂の前に立ちました。二人とも思わず、涙が出ていました。私たちに心の支えになって

いました。それから節目の20年、そして今年の25年。金堂の前に立つその度に、二人ともちゃんと生きているという実感を持っています。

鑑真和上の像は、中国から日本へ渡航すること12年間で5回も失敗し、目が見えなくなっても6回目で日本へ来て仏教の戒律を受けようとされた鑑真和上をよく表しています。弟子たちが死期の迫っていた和上の面影と心を後世に伝えようと作った日本で最初の肖像彫刻です。静かな佇まいに心の強さと優しさを感じられるものです。今でもそこにおられるような雰囲気を感じられます。妙な言い方ですが、「本物」です。そして、もう一つの「本物」が和上の像を取り囲む御影堂の障壁画です。堂の中、68枚の襖絵が和上を取り囲んでいます。東山魁爽さんが鑑真和上に捧げるために、日本中を歩き、鑑真の故郷中国へも渡り10年以上の歳月をかけた絵です。堂に入ってすぐに真ん中奥の奥におられる和上を囲む海を表す「濤声」に見入ってしまいます。私もそうですが、部屋に入ったみんなが和上と東山さんの思いに浸ります。本当に心地よい時間です。この年になっても本物に感動できます。新しい発見もあります。

もう5年後にも唐招提寺に二人で行けるよう日々生活を整えていきたいです。

＝社会を明るくする運動＝

エールの花～ひまわりの種～プロジェクト

「今年もかわいいひまわりが咲いたよ」



育成会の総会でお配りした「ひまわりの種」。この夏もご家庭で育てて下さった皆さまからひまわりの写真が届きました。「今年の夏の暑さで枯れてしまった。」「もう一度蒔いたけど、まだ小さいです」など連絡も頂いています。皆さん、ありがとうございます。がんばれ日本！



サロン「みんなの話」報告



7月7日（月）「みんなの話」を開催致しました。

ご自分の長所と共に自己紹介をして頂きました。

そして、子育ての中で嬉しかったことや、困っていることとお話ししていただきました。初めて会う方同士でしたが、我が子と思う気持ちはみなさん同じで、親身に耳を傾けておられました。



○心のデトックスになりました。たくさんのお話をお聞きし、私のちょっとした悩みにも色々な視点でアドバイスを頂いて、とても前向きになりました。本当にありがとうございました。

○再確認しました！ やっぱり何でも話せるこの時間が大切です。つながることが未来へのつながりに・・・「今のかかわりが未来へ」の言葉、大切にします。

○悩み事も、皆さんと話し合う中で多くの意見をいただきました。一人で考えるよりも、人に聞いていただくことで、気持ちが楽になり、また元気になる時間を過ごすことができました。

○他のかたのお話が聞けて、自分の考えもクリアになった気がします。
明日から頑張ろうと思えました。ありがとうございました。

環境や年齢が違っていても、「おかあさん」は一緒です。子育ての悩みはため込まず、出すことが大切です。『誰のために、何のために、どう動くか』悩みを一つひとつ客観的に分析し対応してください。そして何より子育て期間を笑顔で楽しんでください。大変だけど…【徳永】

たんぽぽの会『講演会』テーマ「就学までの流れ、学校生活について」

6月14日（土）、呉市教育委員会学校安全課指導主事の西村美佳先生の講演会に参加させていただきました。内容の一部をご報告致します。



○就学先には、小学校、義務教育学校・特別支援学校があります。小学校、義務教育学校には通常の学級・特別支援学級があります。特別支援学級は一人一人に合わせた適切な学習を行うことを目的としており、特別支援学校は生活上の自立を図るための知識や能力を身につけることを目的としています。

○特別支援学級には、障害による学習上又は生活上の困難を改善し、克服することを目的とした自立活動があります。

原則として、週の授業時間の半数を超えない時数を交流及び共同学習（通常の学級で一緒に授業を行う）として実施することができます。

○通常の学級に在籍している障害のある児童生徒に対して、障害の状態等に応じた「通級による指導」を通級指導教室で実施しています。



※小・中学校、義務教育学校に在籍しているお子さんで、特別支援学校への転学・特別支援学級への転級・特別支援学級の種別を検討、特別支援学級から通常の学級への転級を検討している場合は、教育相談を受けることができます。→本人、保護者と学校が合意形成を図り、学校を通じてお申し込みください。【松岡】



「小学四年生になった」

高橋 菜津子・惇人

息子は小学校入学前に知的障害の診断をもらい、支援級に通っている四年生です。

食事面では、嚥下躊躇症（えんげちゅうちょしょう）といって、食べ物を噛んで食べることが苦手なため、噛まずに食べられるよう、離乳食のような形態の食事を今も食べています。

学校給食は、私が学校にブレンダーを持って行き、支援級の教室で加工しそれを息子は食べています。完全にペーストでないと食べることができなかったのですが、ほんの少しずつ食べる力がついてきたようで、二年生のある日、いき



なりスナック菓子を食べられるようになりました。数ヵ月後には、ラーメンの麺を10本くらい20分ほどかけて食べられるようになりました。

息子が、「食べる苦手」を乗り越えて、自分から「食べたい」と思えるものに出会えた、とてもうれしい日でした。

小学校入学当所は、それまでの既往歴から、配慮していただきたい事をまとめた息子の説明書のようなファイルを作成し、先生方に読んでいただきました。先生は、どの支援員の方がついて息子が安全に過ごせるよう、マニュアル作りのため、力を注いでくださいました。

5～9月の25度を越える外活動では、息子はネッククーラーをつけます。

とても気温が高い夏場は、凍らせた保冷剤を入れることが出来るポケットつきネッククーラーをバンダナで自作し、教室に置いていただきました。

遠足の際には支援員の先生が息子用の保冷剤と交換用の保冷剤も持参し、付き添ってくださいました。

初めての運動会、出演種目ではないときは、風通しのよい救護テントで過ごさせていただきました。

先生方のサポートのおかげで、初めてだらけの小学校での授業や活動に全て参加することが出来ました。手厚いサポートへの感謝と申し訳なさと同時に、



息子が参加できるうれしさでいっぱいでした。

周りの人たちと関わる経験を増やすため、児童会に入会、二年生の九月から、学校に迎えに来てくれる放課後デイサービスに週二回通うことにしました。

四年生になり、バス通学の練習を本格的にスタートしました。わたしも一緒にバスに乗ります。何度か練習をしたある日、息子の方から、「〇〇ちゃんと一緒にバスで帰る。」と言ってくれました。とても心配だったので、「〇〇ちゃんと一緒に帰れるか聞くんよ」「一緒に学校から出るんよ」と、繰り返し伝え、挑戦してもらいました。

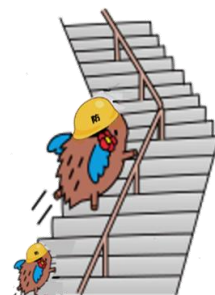
バスから降りてくるまで、とても不安でしたが、本人は自信満々で帰って来てくれました。お友達に感謝です。一緒に帰ってくれたおかげで、はじめて友達とバスで帰るという経験が出来ました。

まだ、一人でバスに乗るのは怖いようで、しばらく付き添い乗車は続きそうです。自分から「一人で大丈夫」と言ってくれる日を楽しみにしています。

10年後の息子は、どんな人になっているでしょうか。今出来ないことが出来るようになってきているかな、どうしても出来ない事を、自分で人に伝えることが出来るようになってきているかな、人と関わって元気に生きてほしいです。



両城中学校 フロンティア



フロンティアⅠ組は2年生1名、フロンティアⅡ組は1年生2名と2年生1名で活動しています。

夏をイメージして
書きました。(Ⅰ組)



小学校の先生が中学校に来てく
ださいました。久しぶりに会えて
とても嬉しかったです。(Ⅱ組)



夏をイメージして作
りました。(Ⅱ組)

今年もきゅうりを
育てました。(Ⅰ組)





一般大会

開催日時 令和7年11月30日(日)10:00～15:00
開催場所 三原市芸術文化センターポポロ
メインテーマ 明日に向かってひろげよう！
一般大会テーマ ライフステージを豊かに生きるために
はつらつ大会 自分の思いを伝えるために



【申し込み締め切り 9/30】

9:30	9:45	10:00	10:45	12:00	13:00	14:30	15:00
受付	オープニング セレモニー	開会式	講演会 「こころのボーダーをなく す地域づくり」	昼食 休憩	座談会 「ライフステージを豊かに 生きるために」	閉会式 大会決議	

たいかい ほんにんぶかい
はつらつ大会(本人部会)

9:30	9:45	10:00	10:45	12:00	13:00	14:30	15:00
受付	オープニング セレモニー	開会式	分科会1 行政との話し合い 分科会2 エンジョイ 三原 やっさ	昼食 休憩	分科会1 グループワーク 分科会2 かぐやパンダ・ やっさだるマンと遊ぶ	閉会式 大会決議	
		出発 バス移動～竹原まちなみ観光		昼食休憩	帰路～バス移動	帰着	

～地震から身を守るために～

日本列島は地震の多い国。自然災害の中で予期せず訪れる地震。

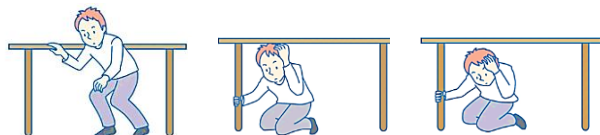
地震が起きたら、まず身の安全を確保することが大切です。家の中にいる場合は、机の下に隠れる、外にいる場合は、建物や塀から離れるなど、状況に応じた行動をとりましょう。また、地震の後は、余震や火災、津波などに注意が必要です。困った時には、周りの人に「困った」と伝えましょう。



地震が起きたときの具体的な行動

【家の中では】

揺れを感じたら、すぐに机やテーブルの下に隠れ、頭を保護しましょう。揺れが収まったら、周りの状況を確認し、安全な場所に移動しましょう。ガラスの破片や倒れてくるものに注意しましょう。



【電車・バスに乗車中のときは】

つり革、手すりなどにしっかりつかまり、車外に投げ出されないように気を付けるとともに、車掌又は誘導員の指示に従う。



地震の震度 ゆれの状況

震度	ゆれの状況
0	人はゆれを感じない。
1	屋内にいる人の一部がわずかにゆれを感じる。
2	照明などのつり下げ物が、わずかにゆれる。
3	棚にある食器類が音を立てることがある。
4	つり下げ物は大きくゆれ、棚にある食器類は音を立てる。
5 弱	物につかまりたいと感じる。固定していない家具が移動することがある。
5 強	物につかまらなさと歩くことが難しい。食器や本が落ち、固定していない家具が倒れることもある。
6 弱	壁のタイルや窓ガラスが破損し、落下することがある。耐震性の低い建物では、傾いたり、倒れたりする。
6 強	多くの壁のタイルや窓ガラスが破損、落下。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。耐震性の低い建物では、傾いたり、倒れたりするものが増える。
7	ゆれにほんろうされる。耐震性の低い建物では、倒壊するものがさらに多くなる。



ほんにんかつどうほうこく 本人活動報告



11月30日に開催されるはつらつ大会三原・竹原大会の決まった事を聞きました。3つの分科会があってこれから何に参加するか決めます。

2月1日の本人の本人による相談会の開催も決まりました。

選挙について勉強会をしました。投票の仕方の話がありました。手帳を見せると、字を書くのが難しい人には支援してくれることを知りました。次の選挙にも投票に行きます。

平和について話しあいました。平和公園に行った人も沢山いました。戦争は怖いんです。相手のことを思って行動することが平和の一步だと学習しました。

夏、楽しみなことを発表しました。みんな盆休みはのんびり過ごしたいと言っていました。

字の勉強をして岩木先生にメッセージカードを書きました。岩木先生と電話で話をしました。また会いたいです。

8月の本人部会はカレーを作って食べることにになりました。カレーやサラダの材料をみんなで考えました。とっても楽しみです。午後から神崎先生と7月の歌を歌いました。【田原 秀登志】



今年の夏の過ごし方 ～卒業後、成人期以降の方～



★お給料でカープチケットを買って応援に行きます。

★大好きなゲームをしたり、福岡のおばあちゃんの家に行くことが楽しみです。

★高等部を1年前に卒業し運動をする機会が少なくて、プールに通いダイエットをしようと思います。計画だけで終わらないよう夏が終わる頃には、1年前の体重に戻れるよう頑張ります。

★家族で温泉旅行に行って、おいしい料理を食べたいな。

★買い物に行って自分で支払いができるように頑張る。

★お盆に大分のおじいちゃん、おばあちゃんの家でバーベキューがしたい。

★健康に気をつけて無事に夏を乗り切りたいです。

★花火大会に行きます。ゆめタウンで食事をします。

★高校野球を見るのが楽しみです。予選から応援します。

★お盆にみんなが集まって、お墓参りに行きます。みんなで食事をします。楽しみです。

★夏休みが無いので、毎日の仕事と手伝いを休まず頑張ります。

★盆休みが楽しみです。とにかくのんびりしたいです。

★お姉ちゃんの家へ泊りに行きます。楽しみです。



説明の追加

育成会だより 7 月号、臨時号に掲載しました「民生委員・児童委員は地域の縁の下の力持ち」の中の【民生委員・児童委員とは】において、「581 名の民生委員児童委員が活動しています。」と記載しました。この 581 名は、民生委員・児童委員の定数 633 名から主任児童委員 52 名を除いた人数です。なお、主任児童委員とは次のとおりですので、説明を追記させていただきます。

【主任児童委員とは】

特に児童福祉に関することを専門に担当している民生委員児童委員です。呉市では、52 名の主任児童委員が活動しており、地区民生委員児童委員協議会につき、1～3 名選出されています。
((社福)呉市社会福祉協議会ホームページより抜粋)



新しいサービス!

“就労選択支援とは”

新たな障害福祉サービスとして
令和 7 年 10 月から実施

◇趣旨

障害者本人が就労先・働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援する。

◇支援内容

- ・短期間の生産活動等を通じて、就労に関する適性、知識及び能力の評価、就労に関する意向等の整理(アセスメント)を実施。
- ・アセスメント結果の作成に当たり、本人及び関係機関の担当者等を招集して多機関によるケース会議を開催し、本人の就労に関する意向確認を行うとともに担当者等から意見聴取を実施。
- ・アセスメント結果を踏まえ、必要に応じて関係機関等との連絡調整を実施。
- ・地域の就労支援に係る社会資源や雇用事例等に関する情報収集、本人への進路選択に資する情報提供を実施。

☆ありがとうございました☆

【順不同・敬称略】(7 月 15 日現在)

ご寄付いただいた皆さま

ふれあいコンサート実行委員会

匿名

サポート会員の皆さま

小田原 裕紀 (株)郷原運送 土手 千雅子
寺本 有伸 石川 直之 佐原 順子
堀内 秀人 友國 磨紀 松岡 大樹
山本 康雄 西村 淑子 松川 美津子

8 月 17 日(日)10 時～ つばき会館

本人活動「カレーを作って食べよう」

参加費 500 円 エプロン・三角巾・マスク・タオル

締切 8 月 8 日(金) 先着 20 名程度 ☎24-2260

夏季休業のお知らせ

8 月 14 日(木)15 日(金) 閉所いたします。

編集後記

今年は戦後八十年。呉空襲では、この穏やかな窓の外が火の海だったとは想像もつきません。悲惨な戦争が繰り返されませんように願ってやみません。

入院中の仲間や先生に手紙を書きました。早く元気にと思いを込めて。

毎月、練習を重ね、思いを少しずつ文字にできるようになってきました。時間もかかりますが一生懸命に書きました。

「細やかな心掛けを大切にして、小さな幸せを見出せるような人になりたい」
心にとまった言葉です。

高圧受電設備・配電盤・分電盤・制御盤
各種の 設計、製作、保守業務

 根石電機工業株式会社

本社・工場/〒737-0821 広島県呉市三条 1 丁目 4 番 1 5 号

TEL(0823)21-4901(代) FAX(0823)21-4920

E-mail: neishi@alto.ocn.ne.jp